

啓明



# 啓明通信



## 学校教育目標

- 将来に希望をもち、豊かな知性を磨く生徒
  - 自分に厳しく、他をおもいやる生徒
  - ねばり強く、心身をたくましくきたえる生徒
- 校訓：「独立自往」

## 今年度実践目標

「みんなが幸せになる学校づくり」  
～学校づくりの<主人公>として仲間と共に歩む生徒～

## 「未来を見据えて歩む二学期」

主幹教諭 加賀 一

長い夏休みを終え、生徒たちの元気な声が再び校舎に戻ってきました。今年の夏は観測史上最高の暑さが各地で報じられ、気候変動が身近な脅威として迫っていると実感させられる夏でした。社会に目を向ければ、気候変動や自然災害、国際情勢の不安定さなど、私たち大人でさえ答えを出せない課題が数多くあります。

そのような中、6月末、鹿児島県の種子島宇宙センターから、日本の主力ロケットH2-Aが最後の打ち上げを行ったというニュースがありました。今回搭載されたのは、温室効果ガスの観測を目的とする衛星「GOSAT-GW」。地球規模で進行する気候変動を科学的に捉えるために、重要な役割を果たすと期待されています。そして、そのH2-Aの後を継ぐのは、より優れた性能と経済性をもつH3ロケットです。さらに8月には、日本と欧州が協力して進める「Ramsesミッション」が発表されました。これは2029年に地球に接近する小惑星「アポフィス」を観測するための国際プロジェクトです。このプロジェクトで日本は、H3ロケットによる打ち上げ支援や機器の提供を検討しており、地球を守る技術を結集する挑戦の一端を担うこととなります。まさに、国際協力によって未来を拓くといっていでしょう。

さて、二学期は学校にとって大切な行事が目白押しです。まずは啓明祭。夏休み前から準備を進めてきたクラスもありますが、本格的な活動はこれからです。クラスで知恵を出し合い、アイデアを形にするには、思いを伝える力や相手の言葉を受け止める力が大切になってきます。当日の華やかな舞台や展示は、そうした過程の積み重ねの上に築かれるものです。また、合唱の会では練習を重ねるうちに、少しずつ一体感が生まれ、やがて体育館いっぱいに響く歌声へと変わっていきます。その過程で生徒たちは、自分の声を大切にしながら、仲間の声を聴く姿勢を学びます。

これらは、先に紹介した宇宙開発のように国際協力にも通じる価値観でもあり、社会の中で他者と共に生きる力でもあります。人類の歩みは困難に挑むことで未来を切り拓いてきました。学校という小さな社会での挑戦もまた、未来を見据える力の源となります。

二学期も温かく生徒を見守り、時に励ましを送っていただければ幸いです。

## 学校・家庭・地域が手を携えた子どもの見守りのお願い

二学期も、主体的に学習や学級活動等に取り組む、より良い集団づくりを進めるとともに、自らの良さや可能性を伸ばす学習活動を行っていきます。

子どもたちは、学習や進路、友人や家族等のことなどで少なからず不安や悩みを抱えて生活します。ストレスは自分を成長させるために必要となることもありますが、心身に不調をきたすこともあります。

教職員は、保護者・地域と共に、一人一人に寄り添い、良いところと一緒に探していくとともに、心のSOSサインを見逃さず、子どもの声を傾聴し、声かけしていきます。二学期もどうぞよろしくお願いいたします。